



## 2024年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年6月8日

上場会社名 株式会社Casa 上場取引所 東  
コード番号 7196 URL <https://www.casa-inc.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮地 正剛  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鹿島 一郎 TEL 03-5339-1143  
四半期報告書提出予定日 2023年6月8日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年1月期第1四半期の連結業績（2023年2月1日～2023年4月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第1四半期	2,724	6.6	△144	—	△122	—	△107	—
2023年1月期第1四半期	2,555	△3.8	45	△66.4	78	△51.7	24	△73.9

(注) 包括利益 2024年1月期第1四半期 △123百万円 (—%) 2023年1月期第1四半期 62百万円 (62.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第1四半期	△10.79	—
2023年1月期第1四半期	2.48	2.36

(注) 2024年1月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第1四半期	14,312	6,418	44.8
2023年1月期	13,225	6,842	51.7

(参考) 自己資本 2024年1月期第1四半期 6,416百万円 2023年1月期 6,839百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年1月期	—	—	—	—	—
2024年1月期（予想）	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年1月期の連結業績予想（2023年2月1日～2024年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,499	7.8	164	△49.6	220	△43.2	105	5.9	10.56
通期	11,276	9.6	838	6.7	929	3.8	544	113.9	54.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年1月期1Q	11,300,100株	2023年1月期	11,300,100株
② 期末自己株式数	2024年1月期1Q	1,294,746株	2023年1月期	1,294,746株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年1月期1Q	10,005,354株	2023年1月期1Q	9,997,910株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和により、経済活動は徐々に正常化に向けた動きがみられております。

一方で、今後の先行きについては、資源価格の高騰や円安の進行によるインフレ懸念が高まるなど先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの関連する賃貸不動産市場におきましては、賃貸住宅の新規着工件数が増加傾向にあるなど、底堅い動きとなっております。

このような事業環境を背景に、当社グループにおいては利益拡大を目指し、新規出店による営業エリアの拡大や人員の積極採用を行うとともに、オペレーションコストの圧縮に努めております。

新規契約件数は、前年同期比17.6%増の41,322件となりました。その中で大手・中規模管理会社向け保証サービス「ダイレクトS」の新規契約件数は前年同期比154.6%増の4,435件、主に小規模管理会社を対象とした保証サービス「家主ダイレクト」の新規契約件数は前年同期比14.8%増の14,104件となりました。また、事業用物件の保証サービスも保証内容を充実させ、販売に注力した結果、新規契約件数は前年同期比17.6%増の2,143件となりました。保有契約件数は598,968件と前連結会計年度末に比べて12,492件増加となり、既存契約からの継続保証料の増加もあり、売上高は前年同期を上回りました。

紹介手数料は、新規契約の増加及び手数料率の高い金融審査商品「ダイレクトS」の売上構成比が上昇したことにより38.1%増の375,044千円となりました。貸倒引当金繰入額は、保有契約の成長と長期の未収案件の回収が遅れたことにより18.4%増の873,332千円となりました。一方で保証残高に占める求償債権残高の割合は、回収が計画通りに進んだことで一定の水準が保たれております。訴訟・処分費用は、長期の未収案件が増加傾向にあり、その案件の早期解決を図り一時的に増加し27.4%増の273,877千円となりました。これらの要因から売上原価は前年同期より24.5%増の1,526,752千円となりました。

自主管理家主に対しては、家主向けセミナーの開催やオウンドメディアを通じて、賃貸経営支援ツール「OwnerWEB」のプロモーション活動を行っております。これにより「OwnerWEB」を利用する家主数は前年同期比で45.3%増の6,382人となりました。

養育費保証事業においては、全国の自治体に対し養育費の未払い防止に向けた取り組みの提案を行っており、2023年5月時点で259自治体が養育費保証の利用者に対する補助制度を導入しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,724,644千円（前年同期比6.6%増）、営業損失は144,183千円（前年同期は営業利益45,059千円）、経常損失は122,649千円（前年同期は経常利益78,043千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は107,998千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益24,754千円）となりました。

なお、のれん償却額65,475千円を販売費及び一般管理費に計上しております。

※当社グループの報告セグメントは家賃債務保証事業のみであり、他のセグメントの重要性が乏しいため、セグメントごとに記載しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,087,166千円増加し、14,312,511千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて734,815千円増加し、7,070,182千円となりました。これは主に、貸倒引当金が247,550千円増加した一方で、未収入金が519,025千円、売掛金が384,523千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて352,350千円増加し、7,242,329千円となりました。これは主に、繰延税金資産が406,680千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,510,811千円増加し、7,894,045千円となりました。

これは主に、契約負債が737,794千円、未払法人税等が337,182千円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて423,645千円減少し、6,418,466千円となりました。

これは主に、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により107,998千円、剰余金の配当により300,160千円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年3月9日に公表いたしました2024年1月期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,889,327	2,873,816
売掛金	1,307,258	1,691,781
求償債権	3,996,187	4,073,471
未収入金	789,759	1,308,785
その他	157,878	174,923
貸倒引当金	△2,805,045	△3,052,596
流動資産合計	6,335,366	7,070,182
固定資産		
有形固定資産	46,803	43,290
無形固定資産		
のれん	2,793,610	2,728,135
その他	1,025,479	1,061,643
無形固定資産合計	3,819,090	3,789,778
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,352,722	2,759,403
その他	671,362	649,857
投資その他の資産合計	3,024,084	3,409,260
固定資産合計	6,889,978	7,242,329
資産合計	13,225,345	14,312,511
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	12,000	12,000
未払法人税等	78,849	416,031
契約負債	4,751,299	5,489,093
賞与引当金	84,216	163,652
債務保証損失引当金	145,843	149,226
その他	1,276,881	1,632,897
流動負債合計	6,349,089	7,862,901
固定負債		
長期借入金	33,000	30,000
その他	1,143	1,143
固定負債合計	34,143	31,143
負債合計	6,383,233	7,894,045
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,595,188	1,595,188
資本剰余金	1,595,188	1,595,188
利益剰余金	5,151,000	4,742,841
自己株式	△1,439,203	△1,439,203
株主資本合計	6,902,173	6,494,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△62,385	△77,872
その他の包括利益累計額合計	△62,385	△77,872
新株予約権	2,324	2,324
純資産合計	6,842,111	6,418,466
負債純資産合計	13,225,345	14,312,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)
売上高	2,555,064	2,724,644
売上原価	1,226,714	1,526,752
売上総利益	1,328,350	1,197,892
販売費及び一般管理費	1,283,290	1,342,075
営業利益又は営業損失(△)	45,059	△144,183
営業外収益		
受取利息	18	22
償却債権取立益	28,371	16,243
補助金収入	4,033	2,432
その他	1,534	3,534
営業外収益合計	33,958	22,233
営業外費用		
支払利息	114	89
支払手数料	859	609
営業外費用合計	974	698
経常利益又は経常損失(△)	78,043	△122,649
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	78,043	△122,649
法人税、住民税及び事業税	162,070	392,029
法人税等調整額	△108,781	△406,680
法人税等合計	53,289	△14,650
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,754	△107,998
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	24,754	△107,998

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	24,754	△107,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,843	△15,486
その他の包括利益合計	37,843	△15,486
四半期包括利益	62,598	△123,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,598	△123,484



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は、2023年5月31日開催の取締役会において、株式会社GoldKey Co.,Ltd（以下「GoldKey社」という。）の株式を追加取得し、子会社化することについて決議し、2023年6月1日付で株式譲渡契約を締結し、2023年6月6日付で株式を取得いたしました。

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社GoldKey Co.,Ltd

事業の内容：マンション管理アプリ企画開発、IoTプラットフォーム開発運営

## ② 企業結合を行った主な理由

GoldKey社が持つIT技術力やリソースを活用して、当社の主要顧客である不動産管理会社や自主管理家主に対し新しい付加価値サービスの提供を行います。具体的には、同社が開発した入居者アプリに設備トラブルや近隣トラブル等の一次受けサービスを加え「Roomコネクト」として販売を開始いたしました。

今後も新たな付加価値サービスを創造し、当社グループの事業拡大や企業価値の向上を図ってまいります。

## ③ 企業結合日

2023年6月6日（株式取得日）

## ④ 企業結合の法的形式

株式取得

## ⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

## ⑥ 取得した議決権比率

企業結合日直前に所有していた議決権比率 14.3%

企業結合日に追加取得した議決権比率 36.2%

取得後の議決権比率 50.5%

## ⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式（議決権の50.5%）を取得したことによるものであります。

## (2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

株式譲渡契約における守秘義務により非開示とさせていただきますが、第三者機関が試算した株式価値評価を基に、当社取締役会において公正かつ妥当であると判断し、決定しております。

## (3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

## (4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

## (5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。